

いしかわ動物園の平成18年度管理状況

施設所管課	観光交流局交流政策課
指定管理者	財団法人石川県民ふれあい公社 理事長 栗原 正一
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員全員が催物や動物情報を共有し来園者への対応が可能となるよう定期的に職員の会議を実施 毎朝のミーティングにより当日の催物案内や接遇の再確認を行っている。 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> HP上に、お問い合わせアドレスを掲載、運営に関する意見・質問を受け付け、業務に反映している。 <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者、高齢者に対し、車椅子を無料貸し出し 雨天時には、傘を無料貸し出し 飼育職員が、新たな発想で飼育、展示を行うことを目的に他館(のとじま水族館・ふれあい昆虫館)との交流研修を実施している。
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 生き物発見塾の開催(4月～3月、計12回)参加人数80人 自然クラブ(4月～3月、計6回)参加人数125人 裏側探検ツアー(4月～3月、計12回)参加人数165人 動物クイズラリー(4月～3月)参加人数5,476人 写生大会(4/1～4/28、中学生以下)参加人数878人 ナイト・ズー(7/15,16)参加人数3,873人 ナイト・ズー(8/13,14)参加人数13,196人 ナイト・ズー(9/16,17)参加人数6,671人 夏休み工作教室(8/5,12,19,26)参加人数78人 カバの日本一長寿を祝う会(9/18)参加人数138人 <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間の教育普及・催物予定表を作成し、保育園、小中学校、公民館等へ配布(5,000部) GW期間、ナイト・ズー、秋の行楽期間にテレビCM、新聞広告を実施 夏休みイベントの新聞折り込みチラシを配付(806,830部) ホームページ掲載、メールマガジン(月2回)への情報の掲載 広報誌「アニマルアイズ」を保育園・小中学校へ配付(年4回、延6000部)

使用の許可に関する業務	使用許可、使用料の徴収、納入 ・使用許可の件数（（２）参照） ・使用料の収入実績（（３）参照）
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃：ワックスがけ年６回、ガラス磨き年３回（以上外注） ほかに４名の清掃作業員が園内の清掃を担当している。 保守点検：エレベーターは、専門業者と契約して毎月点検を実施 警備：開園時間内については、職員が園内巡回、夜間については、機械警備により異常発生時に速やかに対応できる体制を整えている。 小規模修繕：消防設備、給排水等、ポンプ等の修繕を実施し、施設の保全に努めている。
（その他知事が必要と認める業務）	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・いしかわ動物園消防防災計画等による年２回の消防訓練の実施や事故発生等による緊急時対応について職員に周知 ・動物の絵のコンクールなどで取得した個人情報、外部に漏れないよう管理されている。

（２）いしかわ動物園の利用状況

利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H17年度	H18年度	前年度比	増減理由
いしかわ動物園利用者数（人）	297,332人	321,882人	108.3%	イベント開催及び冬期間における好天による利用者の増

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

（３）使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
いしかわ動物園入園料	170,656,303円	12,111,510円	身体障害者手帳等保有者 5,442人 プレミアムパスポート提示者 7,860人 学校等行事による申請者 21,319人
ロッカー	83,700円		
ベビーカー	822,900円		

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	274,058,447	人件費	266,710,778
利用料収入	170,656,303	光熱水費	52,411,094
その他収入	906,600	修繕費	12,997,293
		需用費	24,904,990
		飼料費	19,098,181
		役務費(広告宣伝費等)	13,188,724
		委託料	31,249,928
		その他	24,610,743
		次年度運営準備金	449,619
合計	445,621,350	合計	445,621,350
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項 (管理の実態を把握するために必要な事項)
利用者アンケート結果、評価、苦情、要望

年月	内容	対応
特になし		

事故、故障等

年月	内容	対応
平成 18 年 11 月	自動火災報知設備修繕	雷害により故障。応急処置し詳細調査後に修繕を実施。

その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上に向けた取り組みが行われているか。	B	・職員全員が催物や動物の情報を共有し来園者への対応が可能となるよう定期的に職員の会議を実施 ・毎朝のミーティングにより当日の催物案内や接遇の再確認を行っている。
利用促進に向けた取り組みが行われているか。	A	・ナイト・ズーなど各種イベントの計画的な実施や積極的な広報活動を展開した結果、利用者増を実現した。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・日常の清掃、定期的な専門業者による清掃のほか、機械設備の小修繕などは自ら行うなど、適切に管理が行われている。
緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、消防訓練の実施や緊急時対応の職員訓練が実施されるなど安全対策は適切である。
適切な管理運営を行う組織・体制か。	B	・施設の管理、運営にあたる職員の人員配置や担当業務を定めて適切に運用されている。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	B	・昨年は、特に苦情はなかった。 ・動物の絵のコンクールなどで取得した個人情報、外部に漏れないよう管理されている。
総合評価	B	・施設の設置目的にあった管理運営がなされており、今後も適正な管理と利用促進に向けた取り組みを期待する。

評価基準

- A(優): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B(良): 適正である
- C(可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

特になし